

授業科目 言語学

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	言語
阿部 聡		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 平易なテキストとハンドアウトなどを用いて、言語学の基本的な考え方について概観し、言語学的主要な領域を説明する。現代言語学の大きな流れ・分野を概観し、言語の単位、構造や機能について考えていく。言語の構造に関しては、音声、音韻、語の構造（形態）、文の構造などを扱う。また、言語聴覚士国家試験ではこれらに対応した日本語学・日本語文法の知識・考え方を問う問題が出題されているため、日本語の構造についても併せて説明する。言語の機能については、意味論や語用論などの観点から説明する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 言語学の基本的な考え方を身につける。 2. 言語学の基本概念・単位・分野についての知識を得る。 3. 主体的に言語の構造を分析できるようになる。 4. 言語の機能や言語と社会・文化との関わりについて学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	言語とは何か（素朴な言語観、言語学の各分野の「言語のとらえ方」）			1 2	講義 討議 質問用紙
2	言語の恣意性と分節性（言語の記号としての特徴）			1 2	講義 質問用紙
3	言語能力と言語運用、言語の構造と言語の機能			1 2	講義 質問用紙
4	現代言語学的主要な分野（音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論）			1	講義 質問用紙
5	音韻論、日本語の音声・音韻			1 2 3	講義 質問用紙
6	形態論、日本語の語形成			2 3	講義 質問用紙
7	統語論（1）生成文法：文・句の構造			2 3	講義 質問用紙
8	統語論（2）日本語の文構造			2 3	講義 質問用紙
9	日本語の文法的特徴			2 3	講義 質問用紙
10	言語類型論			2 3	講義 質問用紙
11	意味論：語の意味・文の意味			2 3	講義 質問用紙
12	語用論 文の含意			4	講義 質問用紙
13	語用論（2）ポライトネス / 言語の機能：機能主義的言語分析			4	講義 質問用紙
14	言語と社会・文化			4	講義 質問用紙
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ことばに魅せられて 対話篇	大津由紀雄	ひつじ書房	2008・1,600円
参考書		ことばの科学	加藤重広	ひつじ書房	2007・1,260円
		まちがいだらけの日本語文法	町田健	講談社現代新書	2002・700円
		はじめての言語学	黒田龍之助	講談社現代新書	2004・777円
		ベーシック現代の日本語学	日野 資成	ひつじ書房	2009・1,785円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席・質問用紙20% 小テスト（国試問題など）20% レポート（冬休み前に行う予定）30% 期末テスト30%		平易なテキストを用いるのは各講義の前に基本的な考え方について知ってもらう、もしくは疑問を持ってもらうためである。決して授業が楽だというわけではないので注意してほしい。なお、テキストは入手後すぐに通読すること。参考書として挙げた黒田龍之助著『はじめての言語学』は、初講日までに（夏休み中に）読んでおくのが好ましい。授業は講義形式だが、質問用紙やレポートなどを通じて積極的に授業に参加してもらいたい。国試問題だけを眺めると暗記科目のように思ってしまうかもしれないが、実は「考える科目」なので、自ら進んで考える習慣をつけてもらいたい。			